

近現代美術に関する交流史的研究 (①企03-15-5/5)

目 的

日本を含む東アジア諸地域における近現代美術の研究資料の収集、整理、調査研究を行うとともに、その交流を明らかにする有効な視点と調査研究方法の開発を目指す。また、多様化する我が国の現代美術の動向に関する調査研究を行い、基礎資料を作成する。

成 果

1. 5月2日に彫刻家畑正吉の遺族宅に伝わる写真原版の調査を行ない、11月には同原版の寄贈を受けた。
2. 5月21日に文京区大圓寺・台東区全生庵で、6月16日に葛飾区西圓寺・江戸川区燈明寺で彫刻家三木宗策の作品及び文献調査を行なった。この調査に基づき三木宗策の文献目録を編纂、郡山市立美術館で10月31日から開催された「没後70年 三木宗策の世界 木彫の正統」展の図録に掲載した。
3. 10月15日に現代美術家の松澤宥作品・資料の調査を行なった。
4. 3月23日より東京国立博物館との共催で「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠」展を同館にて開催、同展の図録で黒田の画業に関するテキストおよび作品解説を掲載した。
5. 平成26年度に当研究所へ寄贈となった新海竹太郎資料の一覧を田中修二氏（大分大学）と作成、『美術研究』416号（2015（平成27）年8月）に掲載した。
6. 美術史家矢代幸雄とその師であるバーナード・ベレンソンの往復書簡をハーバード大学ルネサンス研究センター及び越川倫明氏（東京藝術大学）と共同で2015（平成27）年6月30日よりウェブ上で展示、2016（平成28）年1月13日に研究会「美術史家矢代幸雄における西洋と東洋」を開催した（一部科研）。

論文

- ・田中淳「展覧会評 歴史をつくる学芸員の眼」『美術研究』417 pp.73-77 16.1
- ・山梨絵美子「黒田清輝の画業と遺産」東京国立博物館『生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠』展図録 pp.29-36 16.3
- ・河合大介「研究ノート 赤瀬川原平と《山手線事件》—〈匿名性〉を手がかりとして—」『美術研究』418 pp.68-80 16.3

発表

- ・塩谷純「近代歴史画の魅力」井原市立田中美術館講演会 15.5.16
- ・山梨絵美子「美術商林忠正—欧米と日本の異なる「美術」概念のはざままで」ハイデルベルク大学東アジア美術研究所国際シンポジウム「日本美術史研究の現在—グローバルな視点から」 15.10.24
- ・田中淳「住友春翠と近代美術 黒田清輝の支援者」新居浜市美術館講演会 15.11.21
- ・山梨絵美子「ベレンソンと矢代幸雄をつなぐ両洋の美術への視点」研究会「美術史家矢代幸雄における西洋と東洋」 16.1.13
- ・田中淳「近代日本美術の基層をめぐって—岸田劉生を中心に」総合研究会 16.3.1
- ・塩谷純「近代日本画を支えた人たち」川越市立美術館講演会 16.3.21
- ・山梨絵美子「黒田清輝の画業—美術で社会を変える試み」東京国立博物館講演会 16.3.26

研究組織

○塩谷純、山梨絵美子、橘川英規、城野誠治、田所泰（以上、企画情報部）、田中淳（副所長）、三上豊、丸川雄三、河合大介（以上、客員研究員）